

## 祝 辞

本日、めでたく武蔵大学をご卒業の皆さん、武蔵大学大学院研究科を修了の皆さん、ご卒業まことに  
おめでとうございます。また、今日までお子様の成長を暖かく見守って来られた保護者の方々にも心  
よりお祝いを申しあげます。

皆さんは武蔵大学で過ごした4年間で、多くの貴重な経験をし、多くのことを学ばれた事と思います。  
新型コロナウイルスと戦いながらの非日常の日々の連続だった辛かった期間では、変異するウイルス  
と闘う人間の無力さを感じる一方、それに立ち向かう医学・医療の進歩を実感し、健康でいることの  
大切さや有難さを改めて認識したことと思います。そんな時間を共有し、励まし合い、助け合い、共に  
勉学に励んだゼミの仲間や、クラブ活動の先輩・後輩は、皆さんにとって一生の宝物となる事でしょう。

慶應義塾の創始者である福沢諭吉は「世の中に最も大切なるものは人と人との交わり、付き合いな  
り。是、即ち一つの学問なり」と言う言葉を残しました。互いに刺激し合い、辛い時には励ましあった友  
人との出会い、きめ細かい指導をして下さった先生方にも恵まれ、主体性、多様性、協調性を大切に  
する武蔵の教育理念のもと、皆さんがこれからの長い人生を生き抜く大切な力を養った事と私は信じ  
ています。

さて、21世紀も最初の4分の1が過ぎようとしていますが、我々は今、地球規模の数多くの解決すべき  
深刻な課題に直面しています。今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックのような地球規模の新  
興・再興感染症が将来再び起ることは容易に予想されます。

また、地球温暖化に伴う異常気象、地震などの大規模災害への備え、脱炭素社会実現への道筋はど  
のようにつけるのでしょうか。アジア、アフリカを中心に人口の増加は顕著で、世界人口は2030年  
には85億人、2050年には実に97億人に達すると予想されていますが、増え続ける人口問題を抱え  
るこれらの地域での食料問題なども待ったなしです。ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレ  
スチナ問題など痛ましいニュースに接する毎日は残念で仕方ありません。国際情勢の緊迫化は我  
が国にも大きな影響を及ぼしつつあります。

このような地球規模の多くの課題の解決には、国家の単位を越え、多くの人々が協力し合わなくては  
なりません。今こそ、地球規模の課題解決にリーダーシップを発揮出来るグローバル人材、グローバ  
ルリーダーが求められているのです。

「世界に雄飛するにたえる人物」を「建学の三理想」に掲げる武蔵で育った皆さんは卒業後もさらに  
研鑽を積まれ、国内外で活躍できる人物になる志を持ち続けてこれからの人生を歩んで下さい。

最近、ロンドンビジネススクールのグラットン教授とスコット教授は“The 100-Year Life: Living  
and Working in an Age of Longevity”という著書を出版しました。「人生100年：長寿時代で  
の生き方、働き方」とでも訳すのでしょうか。現代のような長寿の時代では、これまでとは異なるライフ  
プランを描き、充実した人生を過ごせるように若い時から準備しておく必要がある、というのです。大  
学・大学院での教育・研究期間は勿論の事、自ら選択した仕事に就いた後も、課題解決に挑戦する

姿勢を失わず、学び続け、退職後の新たなキャリア形成にもつなげる準備をする事が重要だというものです。即ち、リカレント教育を受ける機会を増やし、それぞれのライフステージで自分自身に「何をやりたいのか?」、「やるべきことは何なのか?」を問い続けて過ごす事が、人生 100 年の時代に重要である。と著者らは述べています。

米国カリフォルニア大学とドイツのマックスプランク研究所の調査研究によると、西暦 2000 年以降に生まれた世代の日本人平均寿命は 100 歳を越すとされています。まさに、皆さんは人生 100 年の時代を生き、21 世紀を丸々生きていく事になるのです。本日大学を卒業し、これから何ものにも成りうる未来が、何十年も待っています。

武蔵大学での学びで得た知識や考え方は、何事にも変え難い皆さんの貴重な財産であることは勿論ですが、学びは決して卒業式で終わるものではなく、人生を通じて続けるべきものです。自分がまだ知らないことは周囲に限りなく存在している事に気づき、謙虚に知らないことに向き合い、学びを更に深める姿勢、未知の世界に飛び込む勇気と気概を持ち続けてください。

ハーバード大学を首席で卒業したシュルティ・クマールさんは卒業式の式辞で「知らないことのカ」、  
「The Power of Not Knowing」について述べ、不確実性がはびこる世の中ではこの力は殊に重要であり、自分達をより多くの学びに駆り立てる原動力になるものだと強調していました。これからの皆さんの人生には多くの困難が待ち構えているかもしれません。回り道や遠回りをすることを恐れる必要もありません。常にチャレンジ精神を持って、目標に向かって着実に歩み続けてください。

結びに、今日から皆さんは武蔵大学同窓会の一員になります。着実に発展し続ける武蔵大学を愛し、時には大学キャンパスを訪れ、後輩たちを激励して下さると嬉しいですね。武蔵大学で学んだ知識や技能、多様な経験を通じて得た知力、人間力を基盤として、皆さんが洋々たる前途を切り開いて行かれることを心から祈っています。

本日は、ご卒業、誠におめでとうございます。

令和7年 3月 22日

学校法人根津育英会武蔵学園 学園長 池田康夫